

# 企業発！人と資源がつながり合うまちづくり

## 廃校から生まれる地域交流 — 日の出通商株式会社 食品カンパニー 但馬醸造所 —

### 民間企業による廃校活用

日の出通商株式会社食品カンパニー但馬醸造所は、平成20年に養父市大屋町において、廃校となった旧西谷小学校を工場として再生し、地元市民を中心とした社員と共に、醸造酢の生産をスタートした。廃校活用では自治体等が資本投資の主体となることが多い中で、「地域に負担の少ない」企業による取り組みとして注目されている。

同社では、小学校の校舎という特徴を最大限に活用している。体育館の薄暗い舞台裏は醸造室に、理科室は研究室に、職員室は事務所に転用。また、酢の原料となる米や柚子は、地元の農家と連携して任意のグループをつくり、耕作放棄地になった田んぼを利用して育てている。地域のさまざまな資源を生かしながら、地産地消・地域貢献を目指して、地元の道



体育館には大型の貯蔵タンクが並び

の駅や温泉の売店で扱うオリジナル商品を開発している。

さらに、「地元の人と積極的に関わる」という社風により、地元住民や企業を招いて「地区交流会」を毎年開催。運動場でのバーベキューや地元高校生の書道パフォーマンス、中学校の吹奏楽部による演奏等は毎年大いに盛り上がり、地域コミュニティの活性化にもつながっている。

### 「酢料理コンテスト」で地域交流

平成24年には、社員の発案で「酢料理コンテスト」を開催。校舎の家庭科室を会場に、「家庭でできる但馬の料理酢を使ったアイデア料理」のテーマで、地元の主婦によるコンテストを行った。参加者が考案したレシピは、地元レストランに提供している。第2

回目には、「社長さん達の酢料理コンテスト



但馬牛などの高級食材も飛び出した「社長さん達の酢料理コンテスト」

ト」として、但馬地域の企業の男性社長が対決。食材の買い出しを間違えたり、味見をしてみせ返ったりと、ハプニングもありながら楽しく進められた。その後も「第二回チャンピオン率いるチームVS 県立但馬農業高校女子高生チーム」の対決が開催されるなど、地域でも評判のイベントとなっている。

その他にも、古くから地元の人に愛されている養父神社と生姜(ジンジャー)をかけた「養父ジンジャー」や、地元のフラダンスチーム「美女おくず?」とのコラボ商品である「美女酢(びじょーず)」など、社員のアイデアが光る製品を開発している。さらに、市内の書家による製品ラベルや、地元の雑貨屋とコラボしたギフト製品など、「顔の見える関係づくり」を心掛けながら、さまざまな地域の住民や企業等と一緒に、人や資源がつながり合うまちづくりの「翼を担っている」。

#### 日の出通商株式会社

食品カンパニー 但馬醸造所

所在地 養父市大屋町筏288-1

TEL 079-669-1100

URL <http://tajimajozo.co.jp/>